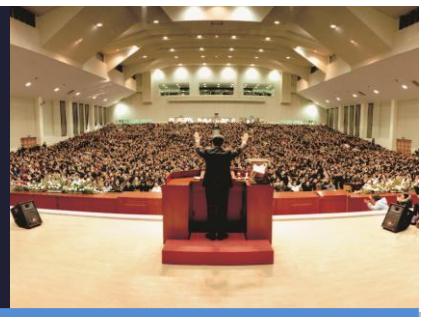
第 2018-45 号

恵みと真理のニュース



2018 年 11 月の二次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］

肝臓癌を治療して下さり、主の事に力を尽くして伝道の実りが実られるようにしてくださった神様に感謝を捧げます

私は仏教を信じる家庭で生まれ、親をついてお寺に通い偶像崇拝をしました。両親が早く亡くなって兄と一緒に暮らしたが、イエス様を信じる兄嫁が私たちの家庭に嫁に来ました。兄嫁は熱心に教会に通いました。しかし、私は親の影響を受けて教会を嫌がりました。兄嫁が教会でいろんな献金をするのを見て“なぜ、兄が稼いだ金を教会にお金を払っているの。”と話すほどでした。そうするうちに、ある日、家庭の反対と迫害にも関わらず相変わらず熱心に教会に通う兄嫁を見ながら“本当に天国と地獄があるのか？教会がどんなところなのか行ってみようかな？と思いました。主日に教会に行こうと思って家を出たら知り合いのおばさんに出会って“どこに行かれますか？と聞いたらちょうど教会に行くと言ったのでその方をついて生まれ始めて教会に行きました。聖殿の前の席に座って聖徒が歌う賛美がどんなに大きいか耳にさわりました。すぐ起きて教会を出ようとしましたが、どうせ礼拝が終わるのを見てから帰ろうと思ってその場でずっといました。ところが、説教を聴いて祈ると心が平安になりました。その後から数回教会に来て礼拝を捧げました。しかし、神様に対する信仰がなかなかできませんでした。
スウォン市に引っ越して恵みと真理教会を通い始めました。ある日は、教会で熱心に祈るおばあさんを見て“何のためあんなに切ない心で祈りをするのか？と疑問を持ちました。そうしながら、家庭のいろんな問題が解決できるよう神様に祈り始めました。祈る時に牧師の説教の本文の御言葉がルカによる福音書７章“イエスはお話しになった。「ある金貸しから、二人の人が金を借りていた。一人は五百デナリオン、もう一人は五十デナリオンである。 二人には返す金がなかったので、金貸しは両方の借金を帳消しにしてやった。二人のうち、どちらが多くその金貸しを愛するだろうか。」 シモンは、「帳消しにしてもらった額の多い方だと思います」と答えた。イエスは、「そのとおりだ」と言われた。”という御言葉が思い出しました。
その時、神様に心を尽くして悔い改めた祈りを捧げるように聖霊様が心に感化させてくださいました。神様の愛とイエス様の贖いの恵みを悟って私のような罪人が赦された喜びと感激に波が出ました。その後、数日涙と鼻水も流しながら祈りました。党会長の牧師の説教を聴きながら恵みを受けて神霊な知識が増え、信仰が成長しました。聖霊洗礼を受けるため祈りをする中で心が熱くなり願い求めたいいげんの賜物も受けました。
　他の所で引っ越して旦那と共に商売をしました。お忙しく生活する中で礼拝と伝道に力を尽くそうといましたが、状況が悪くて主の事に熱心を尽くさなかったです。それで、区域長達が区域長のカバンを持っている姿だけを見ても涙が出ました。商売を辞めた後も続けて仕事をしながら、相変わらず忙しく生活しました。そうするうちに、ある日から食べ物を食べても消化が出来なくてよく疲れを感じました。病院に一人で行くのが怖くて妹を連れて行きました。医師から晴天の霹靂のような話を聞きました。肝臓癌でした。しかも、腫瘍の大きさも８.5cmもなり手術も出来ないと言われました。
その話を聞いて初めは神様が私を天国に呼ばれているのだと思いました。しかし、治療を放棄しなくて治療の神様（ ヤーウェラファ）全能なる神様を考えました。“しかし、わが名を畏れ敬うあなたたちには／義の太陽が昇る。その翼にはいやす力がある。あなたたちは牛舎の子牛のように／躍り出て跳び回る。（マラキ書４：２）という御言葉を持って涙で流しながら神様に祈りました。死んだ者も生き返した全能なる神様を仰ぎました。“神様、私が治るのを願い求めます。このように祈りながら癒しの御言葉を黙想するときベトザタ池の３８年になった病者にイエス様が来られて“良くなりたいか、”聞いて彼を癒したように私も癒してくださる確信が出来ました。”妹の夫婦があちこち手術が可能な病院を調べてみました。その一方で医者の話のように手術をしてむしろ状態が悪くならないか心配になて手術も出来ませんでした。そんな状況で党会長から祈りを受ける日にある病院で手術が可能なの検査をするため連絡を受けました。私は牧師の祈りを先に受けたくて病院に行くのを後にして教会に行きました。牧師の御言葉が大きい慰めになり力になりました。牧師が祈ってくださるときに心が平安になり、大胆になって治療の期待と希望が出来ました。そして、病院に行って手術が可能だという話を聞きました。 “神様！私を治療してくださるならもっと熱心に主の事をします。“農夫が春に道具をよく準備した後、農作業を始めるように私を新しく作って主の道具で用いてください。”と祈って念を押して手術をしました。その時間、旦那は教会に行って神様に私の手術がよくできるように治療に奇跡を与えてくださいと祈りました。旦那は祈る時に主がくださる信仰と平安が心に溢れたとしました。手術は３時間ぶりに成功的でした。そして、回復も早くて一週間ぶりに退院しました。それだけでなかったです。抗ガン治療と放射能治療は受けなくてもよいと言われました。ハレルヤ！
手術を受けた後、礼拝のことに党会長の牧師の説教で深くて豊かな恵みを受けています。説教の一言も漏らすまいとしっかり耳を傾けます。そして、おまけに生きる人生なのでただ主だけ栄光ささげようとしてこのことを実践するため努力しています。神様が私に魂を愛し伝道の熱情と使命感が充満になるようにしてくださいました。それで、外に出る時は必ず福音のニュースを持って伝道の実りが結ばれるように祈ります。
私が住んでいるケンダンから教区バスを乗ってキンポ聖殿まで５０分くらいの時間がかかります。それで伝道をしてみると遠いと話す人々がいます。そうしながら、“私たちが肉親のためおいしい食堂にも行くのに、命の御言葉を聞いて永遠を豊かにするため神霊な洋食を食べるのに距離は何の関係があるのかと、話して教会と牧師の誇りを話しながら楽しく福音を伝えます。このように、伝道するとき聖霊様が働いてくださって一人二人伝道することが出来て、神様は私に伝道賞も受けるように喜びをくださいました。区域聖徒と教区バスに乗って教会に行き来する間、互いに多くの話もしたり、共に祈って賛美することが出来てもっと恵みになります。区域を仕え伝道することが本当に楽しくて感謝です。
　私たちの人生のためこの世に来られ大変な苦難を受けて十字架で死なれたが蘇られたイエス様、私の罪を代わりに贖って下さり、永遠な命と真な幸せを享受させるようにしてくださったイエス様を思うことに感謝と喜びの涙で前が見えないくらいです。私に新しい命をくださった神様、重い病気を治療して下さり、主の事にもっと力を尽くすようにしてくださった神様を賛美します。主が再び来られるその日まで任された職分を真面目に担ってその日に褒められるのを期待しながら今日も福音を伝えて賛美します。すべての栄光を神様に捧げます。

［信仰コラム］　神様が責任を負ってくださいます

”もし，主が良しとされるならば，わたしたちをその地に導いて行って、それをわたしたちにくださるでしょう...”（民数記 14：8，9）

人間が行ったことを神様が責任を負うということは理に適わないことです。しかし、実際には神様が責任を負ってくださったり、責任を負って解決してくださいます。誠に驚くべきで感謝すべきのことです。神様が責任を負ってくださる場合について調べてみます。
第一は、神様の思い通りに行うと神様が責任を負ってくださいます。
私達が神様の思いを分かるようになる場合が三つあります。一、神様が人の考えや意志に関係なく特定の個人や多数に直接知らせてくださる場合です。神様がノアに神様の洪水審判に対して予告なさいながら箱船を備えるようなさったのがこれに該当されます。二、聖書を読んで分かる場合です。聖書を詳しく解いて教えることを聞くことで分かることもこれに該当されます。三、神様に尋ねて分かる場合です。条件を提示して尋ねることもあるが、大体にお祈りで尋ねます。ギデオンのように私達が定めたしるしを神様の求めて神様の思いを確認する体験もできるが神様のお祈りしながら神様が私達に表わせたサインを注意深く見て神様の思いを悟って知ることが普遍的な方法です。神様の思いを知ってその思い通りに行うとその結果を神様が責任を負ってくださいます。
第二は、神様に懇切にお祈りして行うと神様が責任を負ってくださいます。
神様に万事を告げると神様がその人に関心を持たれてうかがってくださいます。もし不足なわけで事をあやまつことがあっても神様が責任を負ってくださいます。神様が私達にお祈りするよう繰り返して言われた理由がここにあります。”地を造られた主，それを形造って堅く立たせられた 主，その名を主と名のっておられる者がこう仰せられる、わたしに呼び求めよ，そうすれば，わたしはあなたに答える。そしてあなたの知らない大きな隠されている事を，あなたに示す”と記録されています。
アハシュエロス王がペルシアを統治する時、奸悪な総理大臣ハマンの悪巧みでユダヤ民族が滅絶の危機を受けました。モルデカイはユダヤ人達に迫った絶体絶命の危機を王侯エステルに知らせ、彼女を高めてくださった神様の思いを悟らせてあげました。エステルはユダヤ人達に断食を要請して、死ななければならないのでしたら死ぬという覚悟を持って王の前に進んでいきました。そうしてユダヤ民族は滅絶を免れて却ってハマンの一族が滅絶を受けました。神様に訴えると神様が問題を担って解決してくださいます。
第三は、神様の言約を信じると神様が責任を負ってくださいます。
私達の信仰は神様の言約に基づいた信仰であるべきです。約束なさった御言葉を信じる人々は神様が責任を負って救ってくださいます。聖書に記録されている神様の約束の御言葉を固く信じてください。神様の言約を信じると神様がその信仰が正しかったということを責任を負って証明してくださいます。
第四は、神様の命令に従うと神様が責任を負ってくださいます。
聖書にはこれを証明する手本で満ちています。ヨシュアは神様の御言葉を徹底に従うと神様が全ての難関を責任を負って解決してくださるということを知りました。この原理を全てのことに適用しました。そうしてヨルダン川の流しを止って民がヨルダン川を無事に渡る奇異なことも体験しました。難攻不落の要塞であるエリコ城が崩れる驚くべきなことも体験しました。ヨシュアは”神様の御言葉に従うとそれによって当面する問題は神様が責任を負ってくださる”ということを見せてくれる証人になりました。
皆さんは神様が責任を負ってくださり、責任を負って解決してくださる体験によって喜び、感激しながら生きていってください。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

クリスチャンの誇り

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

誰も誇りがあれば、それを誇りしたいのが人の常です。しかし、その誇りは何なのか、誰に誇りするかを選別して誇りしてください。ややもすると誇りすることによって不要な反応や結果を招く可能性があるからです。クリスチャンは誇りすればするほど、自分と他の人に有益な誇りがあります。これを今日の本文を見てみましょう

まず、使徒パウロは言われた、**「しかし, わたし 自身には, わたしたちの 主 イエス · キリスト の 十字架以外に, 誇とするものは, 断じてあってはならない. この 十字架につけられて, この 世はわたしに 対して 死に, わたしもこの 世に 対して 死んでしまったのである」**としました。
主イエス・キリストの十字架は私たちを救うために、私たちの罪を代わりに担当してつけられた十字架を意味します。ですから、イエス・キリストを信じて救われを得た人は、イエス・キリストの十字架を誇ります。言い換えると十字架につけられたイエス・キリストを誇っています。私たちの主イエス・キリストの十字架を誇る人には誇りが二つあります。 **「キリストによってこの世が私に対して十字架で死ぬ、私はまた、この世に対してそうのとおりである」**としました。ここでいうこの世とは、福音的信仰に有害なすべてのものを総称する言葉です
「キリストによってこの世が私に対して十字架にかけらあれた」という言葉は、この世は本当のクリスチャンに対して魅力を感じないのを意味します。この世が私に魅力を感じないように、**「私はまた、この世に対してそうである」**としました。本当のクリスチャンはこの世に対して魅力を感じません。信仰に有害なこの世を無価値に扱うという言葉です。イエス・キリストを信じて聖霊から生まれ変わった人とは言い換えて、新たに造られた人たちです。**「それゆえ、だれでも キリスト にあるならば, その 人は 新しく 造られた 者である. 古いものは過ぎ 去った, 見よ, すべてが 新しくなったのである」（コリント人への第二の手紙 5:17）**しました
新たに造られなければ、天国に入られない。新たに造られる道はイエス・キリストを唯一の救い主として信じることだけです。イエス・キリストを信じると神の子供に戻って出るようになれ、新しい命を得られます。**「しかし, 彼を受けいれた 者, すなわち, その 名を 信じた 人々には, 彼は 神の 子となる 力を 与えたのである. それらの 人は, 血すじによらず, 肉の 欲によらず, また, 人の 欲にもよらず, ただ 神によって 生れたのである」（ヨハネ による福音書 1：12,13）**しました。**ロ―マ人への手紙 6 章 4 節では、「すなわち, わたしたちは, その 死にあずかる バプテスマ によって, 彼と 共に 葬られたのである. それは, キリスト が 父の 榮光によって, 死人の 中からよみがえらされたように, わたしたちもまた, 新しいいのちに 生きるためである」と**しました。

イエス・キリストを信じる者が受ける新しい命は永遠の命です。**「神はそのひとり 子を 賜わったほどに, この 世を 愛して 下さった. それは 御子を 信じる 者がひとりも 滅びないで, 永遠の 命を 得るためである」（ヨハネによる福音書 3:16）**しました。この世でその何も神の子どもで生まれるようになって永遠の命を得たことに比較の意味と価値を持ったことはありません。
聖徒の皆さんは、使徒パウロのように主イエス・キリストの十字架を誇ります。そして彼と併せて、キリストによってこの世が私に対して魅力を感じなくなって、私も世の中に対して魅力を感じなくなったのを誇りしてください

次に、使徒パウロは言った、〝この後は、誰もが私を苦しめてはいけないと私は私の体に、イエスの痕跡を持っている」としました。
自分にあるイエスの痕跡とは何であり、その痕跡が誇りの理由を見てみましょう。イエスの痕跡という言葉で私たちは、イエスが苦しみ受けたので彼の体に生じた傷の跡を心に思い浮かびます。禁断の木の実を食べるので罪を犯したアダムに言われた**「あなたが 妻の 言葉を 聞いて, 食べるなと, わたしが 命じた 木から取って 食べたので, 地はあなたのためにのろわれ, あなたは 一生, 苦しんで 地から 食物を 取る」（創世記 3:17）**としました。地がどげとアザミを出すので人が苦労して、額に汗を流すされたのは、アダムの罪により土地が呪いを受けたからです
イエスの頭にとげで作られた冠がかぶせたし、額にある傷から血が流れて下しました。これは、私たちに臨んだ呪いを贖いたことを思い出させます。イエスは手と足につけられ、血を流されました。これは私たちの行為に建てられたすべての罪と、罪を贖いたことを思い出させます。イエスは彼の腰を矛に突かれ、血を流されました。心膜にあった血と血清が流れました。これは私たちが心に建てたすべての罪と、罪の贖いを思い出させます。イエスは背中に鞭を打たれ血を流されました。イザヤ書 53 章 5 節には**「その 打たれた 傷によって, われわれはいやされたのだ」**と記録された
このように凄惨な苦難受け、イエスの贖いの恵みを信じて、イエス様を愛して仕える人は、イエス・キリストによるのいろいろの痕跡を持ちます。
第一は、イエス・キリストを信じて伝えるので持つようになる痕跡があります。
「イエスの痕跡」と使徒パウロ自身がイエス・キリストを信じて伝えるため、持ったあらゆる経験と傷を意味します。したがって、「イエスの痕跡」はパウロだけあることがありません
キリスト教会が韓国に定着する時には、激しい迫害がありました。韓サンドン牧師は日本の迫害を受けて投獄された。神寺参拝を拒否したからです。韓牧師は、打たれと閉じ込められることを恐れていません。その方が慶南固城郡で開拓教会を設立したときの出来事です。当時、町の人々は韓牧師を大変苦しめました。ある日曜日の朝の礼拝の時間に説教をしている時に塀を越えから石が飛び続けました。このようなことが、毎週日曜日続きました牧師は、信徒たちを部屋の内に座らせ、自分は床に座って飛んでくる石を背中で防ぎました。そのことでも牧師は、最後まで礼拝を導きました。韓牧師は、彼の体に、イエスの痕跡を多く持つようになりました。私たちの教会員の中にも、イエスの痕跡を持った人がたくさんいます。それだけでなく、主に仕えることに、通常の心では理解できないほど献身的な方がたくさんあります。これもやはり「イエスの跡」です。

第二には、癒しの恵みで癒しを受けた跡です。
あなたが知らない間にも、癒しの恵みで治療を受けることが無数に多いのを覚りし、感謝してをください。
第三には、主に祈って、問題を解決して、希望することを達成した跡です。
もしあなたが一生の間に祈って答えを受けたことを一つ一つだ記録すれば、その数は無数のを見て驚くだろう。
第四は、主によった霊的な喜びと平安の痕跡です。
自分が直面しことを考えると心配と不安に包まれているはずなのに、祈りと奇しくも、心に平安と喜びが臨むのを体験するようになります
第五は、主によった慰めの痕跡です。
使徒パウロは、記録するのを**「ほむべきかな, わたしたちの 主 イエス · キリスト の 父なる 神, あわれみ 深き 父, 慰めに 滿ちたる 神. 神は, いかなる 患難の 中にいる時でもわたしたちを 慰めて 下さり, また, わたしたち 自身も, 神に 慰めていただくその 慰めをもって, あらゆる 患難の 中にある 人々を 慰めることができるようにして 下さるのである」（コリント人への第二の手紙 1：3,4）**しました。患難と悲しみを受けた人が神様が与えられる慰めを受けて、試練の他の人を慰めることになります
ハバクク預言者は言われた、 **「いちじくの木は 花かず, ぶどうの 木は 実らず, オリブ の 木の 産はむなしくなり, 田畑は 食物を 生ぜず, おりには 羊が 絶え, 牛舎には牛がいなくなる. しかし, わたしは 主によって 樂しみ, わが 救の 神によって 喜ぶ」（ハバクク書 3：17,18）**としました
愛する皆さんにイエスによるのこれらの痕跡が富ませるのを願います。使徒パウロは言われた、**「だれも 今後は, わたしに わずらいをかけないでほしい. わたしは, イエス の 焼き印を 身に 帶びているのだから」（ガラテヤ人への手紙 6:17）**しました。痕跡という言葉は、焼き印という意味があります。鉄の印を火に焼いて押しされた表示を指します。 焼き印は所有を表します。所属を表示します。区別するために必要な表示です。私たちは、キリストの所有であり、キリストに属する者であり、キリストのために区別された者であるのを示すいろいろの痕跡を調べてみました。イエス・キリストを信じる者には誇り栄光の痕跡がたくさんあります。これらの跡について誇りするのは、自分に有益で他人にも益を与えます。そして、神を喜ばせています。これらの痕跡を誇ると悪魔が驚い退いていきます

皆さんはすべて**「しかし, わたし 自身には, わたしたちの 主 イエス · キリストの十字架以外に, 誇るものは, 断じてあってはならない. この 十字架につけられて, この 世はわたしに 対して 死に, わたしもこの 世に 對して 死んでしまったのである」、「だれも 今後は, わたしに わずらいをかけないでほしい. わたしは, イエス の 焼き印を 身に 帶びているのだから」**と誇りしてください.